

## 川中先生のブログ — 故郷の呉の町を歩く | 団塊世代開業医の漢方な日常

### 故郷の呉の町を歩く

2014年07月24日 06時12分09秒

テーマ：日常



呉のコンサートの前に、墓参りにも行きました。



海猿で有名な海上保安大学校近くの丘の上の団地にあります。墓地からは、吉浦の町、



母の故郷の江田島も見えます。『江田島がよう見えるね。死んだら、ここに埋めて貰ったら、故郷が見えるしええわ。』と言っていたのを思い出します。



墓参りを終えて呉の町に。

途中、鉄のクジラ館とか大和ミュージアムを通って、この日の目的地の文化センター近くの駐車場に車を停めて呉の町を散策です。



ここが祖父母が住んでいた家のあと。今は雑居ビルのようなのですが、幼稚園に入るまでここで祖父母の世話になっていました。



祖父母の家の前に堺川があってその向こうに今は公園ですが、昔はこんな街の真ん中に動物園がありました。

向こうに見える建物は市役所です。



<初恋><夕子><踊り子>で有名な村下孝蔵が歌った<れんが通り>が呉の繁華街の中通り。

祖父母の家は今も続いている、薬局とパチンコ屋の間の通りの奥にありました。

中学は越境入学でこの繁華街も含まれている学区の中学校に通いました。



れんが通りを歩くと、昔からある眼鏡屋、



同級生もいた懐かしい玩具屋、



この時計屋さんも同級生がいましたが、まだお店がありました。

生まれ故郷は歩いていると落ち着きますね。ああ、ここには XXX があったのに、とか、ああ、ここは昔のままだ、などなど、町を歩いても色々な思いが起きます。

故郷は、ただ歩いているだけで、いつ何度歩いてもなつかしい。

でも、イイコトばかりは無かったんですがね。